

特別展関連講座① 2023 **9/30** (土) 14:00~15:30 (13:30開場)

一青年の見た関東大震災～旧結城藩・水野勝邦の震災アルバム～

関東大震災の直後、カメラを手に被災現場を撮影してまわりアルバムにまとめた1人の青年がいた。旧結城藩第19代・水野勝邦である。当時、旧制学習院の学生だった勝邦は、後に中国研究者となる人物である。物事を冷静に観察し分析する資質を活かし、皇居周辺、丸の内、九段、上野、墨田川(現・隅田川)方面まで広範囲で撮影を行い、写真には細かく解説を記した。震災直後の状況をほぼリアルタイムで伝えるアルバムは、これまで世に知られることがなかった。残された写真と記述の詳細を分析し、被災した人々の姿や街の様子など震災の実相を読み解く。


講師：長谷川 伶
 (皇學館大学文学部国史学科准教授)

特別展関連講座② 2023 **10/21** (土) 14:00~15:30 (13:30開場)

震災から復興する小学校と新時代の教育

大規模火災を引き起こした関東大震災は、大半が木造であった小学校をも焼失させました。そのため、その後再建された小学校は耐震耐火の鉄筋コンクリート造で建設され「復興小学校」と呼ばれました。この「復興小学校」は単なる復旧ではなく、当時の都市教育が抱える諸課題を解決するとともに、新しい教育を実現しようとしたものでした。その過程を見ると、東京市当局や現場教員、地域社会がそれぞれに強い熱意と力をもって学校を復興させようとした姿が浮かび上がります。そうした復興のプロセスを個別の学校の事例を交えながらたどります。


講師：小林 正泰
 (共立女子大学家政学部児童学科准教授)

特別展関連講座③ 2023 **11/11** (土) 14:00~15:30 (13:30開場)

**関東大震災に遭った文豪・学者たち
 一芥川龍之介・柳田国男・折口信夫その他**

関東大震災は文化人たちにも様々な影響を与えた。芥川龍之介は自警団として活動し、折口信夫は帰宅困難に陥った。永井荷風は「運河の都」としての復興を提言し、ロンドンで惨状を知った柳田国男は、「災害は天罰」だと言ふ者を叱った。未曾有の大災害に遭った彼らの反応から当時の世情を垣間見る。


講師：畑中 章宏
 (作家・民俗学者)

館内関連展示
2階 図書フロア パープルゾーン三角台
■特別展関連図書展示

関東大震災の発生から復興までの道のりを記録した資料や、今後起こりうる災害に備え、地震の知識や備蓄品など身を守る方法を学ぶ資料を展示。

3階 エレベーターホール
■新聞が記録した関東大震災直後のリアル

関東大震災直後に発行された新聞は何を伝え、どう記録したのか。千代田区教育委員会所蔵の当時の新聞を読み解く。

9月1日(金)～11月26日(日)

(9/18月・祝、10/14(土)～16/月、11/20月を除く)

4階 特別研究室 企画展示
■「震災の記録と復興の足跡」

明治東京地震、関東大震災の記録を紹介するとともに市政専門図書館所蔵の関東大震災復興関連資料、今村仁美氏制作の建築模型「市政会館」もあわせて展示。


 左：日比谷公会堂の模型
 右：上野・西郷隆盛像
 (宮武外骨著「震災画報」1923年)

 9月1日(金)～
 10月31日(火)
 (9/18月・祝、10/16月、
 11/20月を除く)